

東栄中学校 50 周年事業について

1. 趣旨

1975 (昭和 50) 年 4 月に開校した東栄中学校が、2024 (令和 6) 年に 50 周年を迎える。町内に 1 校の中学校であり、多くの町民の母校であるので、節目の年を記念して事業を行い、町民や卒業生の学校への愛着を高めたい。

2. 方法

以下の記念事業を行う。(1) を除き、令和 6 年度限定事業とする。

(1) 新しい東栄中学校へのモデルチェンジ (東栄中学校主催)

50 周年を迎え、次代に向けモデルチェンジを行う。次代に向けた新スタイルを保護者と生徒がともに考えていくことは、未来志向力を養う機会にもなる。具体的には制服の見直しの他、保護者から要望の出ている体操服、体育館シューズ、上履き等の見直しも検討する。

【進め方】

・PTA 役員、生徒、学校で検討 (会議・アンケート等)

(2) 記念誌等の作成 (町教育委員会主催)

・学校の沿革や関連写真等をまとめた簡単な冊子及びアーカイブデータを作成する。

【進め方】 事業者にて作成業務委託

①冊子：学校の歩みをたどる (学校経営案や文集「明神」等を活用)

挨拶文や寄稿文 (町長、教育長、校長、PTA 会長、生徒会長)

②アーカイブデータ：冊子を元に学校 HP 等で閲覧できるもの

(3) 記念イベント (町 経済課・教育委員会共催)

・同窓会促進事業

50 周年を契機に、町内外で暮らす卒業生が改めて集い、中学校をはじめ町のことを振り返る機会を促進するため、町内飲食店等を活用して同窓会を実施した場合の会費等費用補助事業を実施する。

(4) 記念講演会 (町教育委員会主催)

・学校行事と日程を合わせ、保護者や卒業生、地域の方々に来校できる日に開催する。

【イメージ】 半日 (数時間) 程度の日程で開催

①あいさつ ②アーカイブデータの投影、全校合唱、講演会 等

(5) 記念施設改修 (町教育委員会主催)

・長寿命化計画と整合性をとりながら中学校と改修箇所等検討して進める。